令和４年９月１５日

徳島大学 教職員

ＳＰＯＤ加盟校 教職員　各位

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　徳島大学ＦＤ委員会委員長

　齊　藤　隆　仁

令和４年度徳島大学全学ＦＤ推進プログラム

「第１８回大学教育カンファレンス in 徳島」 研究発表者の募集及び参加について（ご案内）

 徳島大学では、これまでの教育活動の成果を検証し、教育実践研究を充実・発展させる機会となるよう、本学や他の高等教育機関で行なわれている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認するための大学教育カンファレンスを開催します。また、今年度もＳＰＯＤ（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）の研修プログラムの一環としても実施します。教職員・学生の皆様の積極的な参加をお待ちしています。（なお、このプログラムでの発表は、徳島大学教員業績評価の際、国内学会での発表と同等の扱いとなっています。）

１．会期・会場

会期：令和４年１２月２７日（火）

会場：オンライン（Ｚｏｏｍ） 一部対面会場を設置（地域創生・国際交流会館）

２．スケジュール（予定）　※研究発表の申込数によって時間帯が変更することがあります。

|  |  |
| --- | --- |
| 8：30 ～ 9：009：00 ～ 9：109：15 ～ 10：1510：30 ～ 12：0013：00 ～ 14：0014：15 ～ 15：3515：50 ～ ～ 17：50 | 受付挨拶：河村保彦　学長研究発表Ⅰ（口頭発表）ワークショップポスター発表研究発表Ⅱ（口頭発表）特別講演：「コロナ禍で学生はどう学んでいたのか（仮）」関西大学　准教授　山田　嘉徳　先生 |

３．特別講演

  関西大学教育推進部教育開発支援センターの山田嘉徳先生にご登壇いただき、「コロナ禍で学生はどう学んでいたのか（仮）」と題して講演をいただきます。先生は、コロナ禍における大学生の学びの実態について、＜リアルな大学生の声＞をインタビュー調査を通して掬いあげ、質的研究の観点から明らかにされています。今回は、先生の研究によって明らかになった、コロナ禍の学生の現状や特徴ついてお話しいただくことで、これからの大学教育や授業運営における示唆を得る機会となることが期待できます。

４．研究発表

（１）研究発表の形式： 研究発表の形式は、口頭発表、ポスター発表があります。また、教育実践のため

　　のワークショップによる発表も受け付けます。

（２）実施方法：

① 口頭発表は、所定の時間帯に発表者、参加者が同じＺｏｏｍアカウントに参加し、座長の進行の

もと、発表者がスライド等を画面共有しながら口頭で発表を行います。発表時間は15分、質疑応答

3分です。

② ポスター発表は、所定の時間帯に発表者、参加者が同じＺｏｏｍアカウントに参加し、ブレイク

アウトルームを発表件数分設置し、その中で個別にポスター発表を行います。発表者は割り当てら

れたブレイクアウトルームで、ポスターを画面共有しながら発表を行い、参加者は各ブレイクアウ

トルーム間を自由に移動できるように設定します。なお、ポスター発表では、発表者と参加者との

議論を活性化させるために、参加者は原則カメラをオンでの参加とする。

（３）発表要件： 発表者は、常勤・非常勤を問わず、高等教育機関の教職員、学生、大学院生及び社会人（ただし社会人については、事前審査等を行う場合があります）とする。

（４）発表内容：教養教育、学部教育、大学院教育、公開講座等の授業に関わるもの、また、職員や学生の能力開発に関わるもので、教育改善・授業改善や、職能開発に関する実践報告にとどまらず、実践成果の評価の分析、および考察を含む発表であること。

（５）研究発表の申し込み

①「第１８回大学教育カンファレンスin徳島 発表申込用紙」（Wordファイル）を徳島大学全学ＦＤ推進プログラムホームページ（https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/fd/docs/42605.html）からダウンロードの上、必要事項を入力し、大学教育カンファレンスin徳島事務局宛にE-mailの添付ファイルでお送りください。発表申し込みの〆切は令和４年１０月１４日（金）です。なお、連名発表の場合は、第１発表者の方のみお申し込みください。また、一連発表の場合は、その旨を明記してください。

②発表内容の抄録原稿をＡ４用紙２枚（45字×45行）にまとめ、令和４年１１月２日（水）までに、ＰＤＦ形式に変換して提出してください。（抄録テンプレートについても、同様に、徳島大学全学ＦＤ推進プログラムホームページより入手可能）なお、抄録は事前に徳島大学全学ＦＤ推進プログラムホームページに掲載します。

５．お問い合わせ・連絡先

　　【大学教育カンファレンスin徳島事務局】

大学教育カンファレンスin徳島事務局

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地　徳島大学学務部教育支援課教育企画係

TEL: 088-656-7686　（内線：82（常三島）-7125）　FAX: 088-656-7688
　　　　E-mail: kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

６．主　催

徳島大学ＦＤ委員会

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

※抄録原稿の体裁について
（抄録テンプレートはhttps://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/fd/docs/42605.html からダウンロードできます。）

(1) 原稿の1枚目に、表題、著者名、所属を記載する。

(2) 1頁1, 800文字程度（図表が入る場合はこの限りではない）でA4用紙**2頁**とする。

左余白

20mm

(3）本文の文字は、MS明朝体10.5ポイントを使用する。タイトルは、MSゴシック体16ポイント、章節項等の見出し及びキーワードは、MSゴシック体10.5ポイントを使用する。

(4）本文は、原則として2段組とし、章節項等の見出しの上は1行空ける。また、本文は、見出しの後に行を空けずに記述する。

(5）原稿は、必ずPDF形式に変換して、大学教育カンファレンスin徳島事務局までE-mailの添付ファイルで提出する。

抄録レイアウト

下余白

20mm

2段組みでおよそ2文字分

あける

（本文）

（本文）

MS明朝、10.5pt

表題（MSｺﾞｼｯｸ、16pt）

※副題（MSｺﾞｼｯｸ、16pt）

著者名（MS明朝、12pt）

所属（MS明朝、12pt）

右余白

20mm

22文字

程度

上余白25mm

20mm

下余白

20mm

右余白